



製造・販売元 株式会社 アステックペイント

本社 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1 9F

astecpaints.jp

■ 製品については下記までお問合せください。

ver.202403



REVO TOP ONE

REVOトップワンシリーズ



水性形二液サイディング用下塗材兼用特殊フッ素系上塗材

REVOトップワンF

水性形二液サイディング用下塗材兼用特殊シリコン系上塗材

REVOトップワンSi



窯業系サイディング外壁を永く美しく保ちつつ
工期短縮によるコスト削減を可能にした革命的塗料



REVOトップワンシリーズが実現する 3つのメリット



高付着性

優れた付着性により、
上塗り2回のみで塗替
可能。工事にかかる期
間を削減できます。



高耐候性

紫外線や雨風などの劣
化要因に対して強い耐
候性を発揮。大切な家
を長く守り続けます。



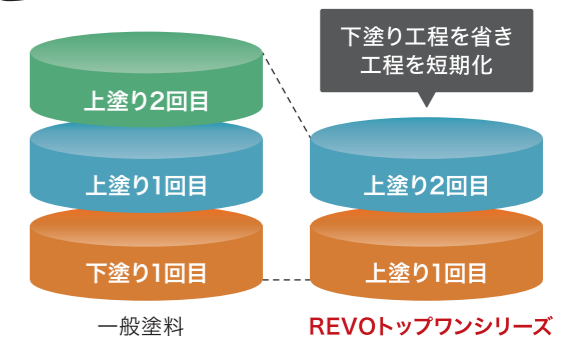
低汚染性

強靱な塗膜表面は砂
埃や排気ガスなどの汚
れから外壁を守り、長
期にわたって美観を維
持します。

REVOトップワンシリーズの特徴

上塗材と下塗材に求められる機能を 同時に発揮し工期短縮を実現

一般的に塗装工事は、下塗り1回、上塗り2回の3工程で行なわれます。REVOトップワンシリーズは、下塗材に求められる付着性を高いレベルで兼ね備えた上塗材であるため、上塗り2回のみで工事を完了することができ、工事にかかる期間を削減できます。



高付着性 付着強化成分により、優れた付着性を発揮

REVOトップワンシリーズは硬化剤に「付着強化成分」を配合しています。この付着強化成分が下塗材と同様の役割を果たすため、上塗りのみで窯業系サイディングの外壁に対して高い付着性を発揮します。

■塗料イメージ

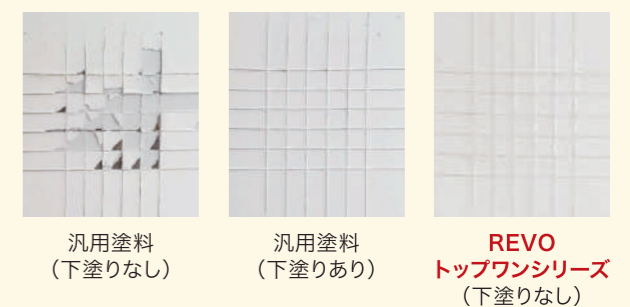
- 特殊シリコン樹脂
- ラジカル制御白色顔料
- 顔料



付着性試験

サイディングボードにREVOトップワンシリーズと一般シリコン塗料を塗布し、付着性試験を実施。試験の結果、REVOトップワンシリーズの付着性は良好であることが確認されました。

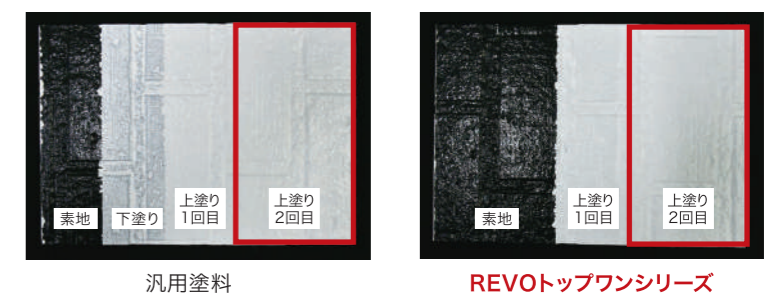
塗料を塗布した下地に基盤目状の切り込みを入れ、テープを剥ぎ取る試験。テープを剥ぎ取った後も、塗膜の剥がれが見られない状態=付着性に優れていると言える。



優れた隠ぺい性で 美しい仕上がりへ

濃色の窯業系サイディングに白色の各種塗料を塗布し、仕上りの差を比較。REVOトップワンシリーズは上塗り2回の塗装でも、3工程での塗装と同等の仕上がりとなるため、塗りムラや透けの心配がありません。

隠ぺい性比較試験



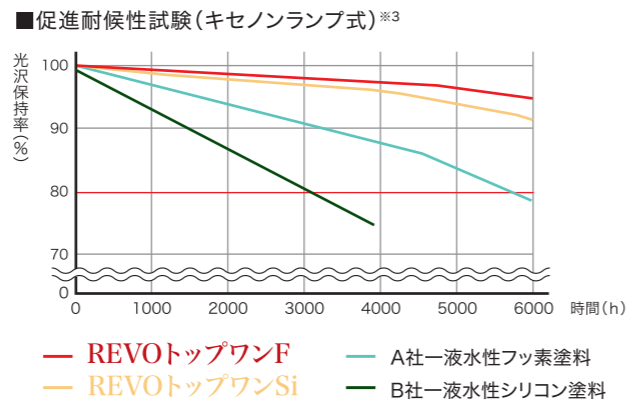


高耐候性

高い耐候性で建物を長期間保護

促進耐候性試験(キセノンランプ式)において、REVOトップワンFは16~20年*1、REVOトップワンSiは13~16年*1経過後も光沢保持率80%以上を保持。劣化要因に耐性を発揮する独自技術により、建物を長期間保護します。*2

※1:期待耐用年数
 ※2:あくまで試験環境下にもとづく推測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。
 ※3:測定値を元にグラフをなだらかに調整しています。



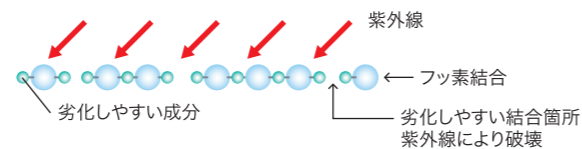
REVOトップワンシリーズが高耐候性を有する理由

REVOトップワンF

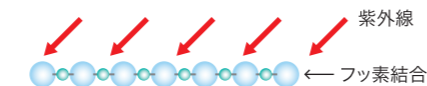
完全交互結合型フッ素樹脂

一般的なフッ素樹脂は劣化しやすい成分同士の結合箇所があり、その箇所が紫外線に破壊されることで塗膜の劣化が進行します。REVOトップワンFは、紫外線に破壊されにくい「完全交互結合型フッ素樹脂」の採用により、優れた耐候性を発揮します。

■交互性の低いフッ素樹脂



■REVOトップワンFのフッ素樹脂「完全交互結合型フッ素樹脂」



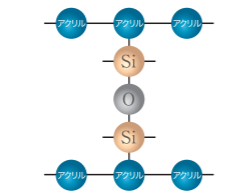
REVOトップワンSi

シリコン成分を豊富に配合

一般的なシリコン塗料と比べ、シリコン成分(シロキサン結合)を多く含んでいます。*シリコン成分の量が多いほど、紫外線に破壊されにくくなるため、耐候性を発揮します。

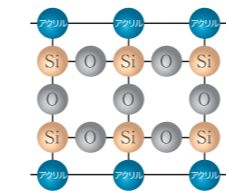
※自社調べ

■一般的なシリコン塗料



紫外線により劣化しやすい結合箇所が多く、塗膜が劣化しやすくなる

■REVOトップワンSi



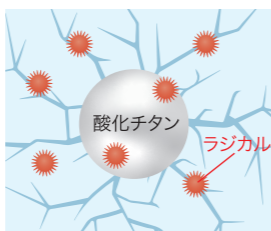
紫外線等の劣化要因に強いシロキサン結合が多く、塗膜の劣化を抑制

REVOトップワンシリーズ共通

ラジカル制御型の白色顔料を配合

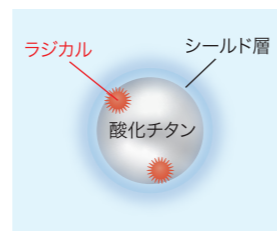
塗膜の劣化要因であるラジカルの発生を抑制する「ラジカル制御型白色顔料」を採用。ラジカルが発生した場合にもシールド層がラジカルの放出を防ぐため、劣化を抑制します。

■一般的な白色顔料



発生したラジカルにより、塗膜が破壊

■ラジカル制御型白色顔料



ラジカルが発生しにくく、発生した場合もシールド層がラジカルの放出を抑える

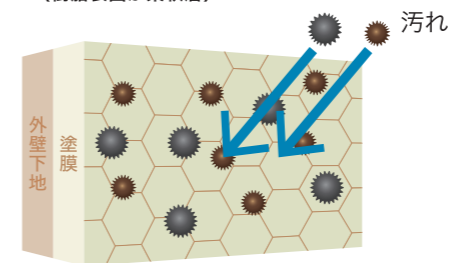


低汚染性

汚れの付着を抑制し、建物の美観を維持

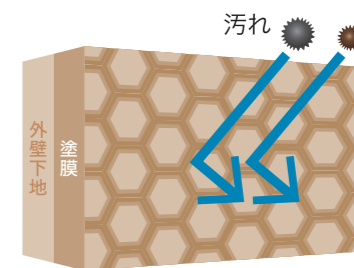
一般的な塗料に使用されている樹脂は、塗膜表面に汚れが付着しやすいという課題を抱えています。REVOトップワンシリーズの塗膜表面は強靭性を有しているため、塗膜表面に汚れが付着しにくく、建物の美観を維持します。

■一般的な塗料(樹脂表面が柔軟層)



塗膜表面の強靭性に乏しく砂埃が突き刺さり、排気ガスが染み込む。

■REVOトップワンシリーズ

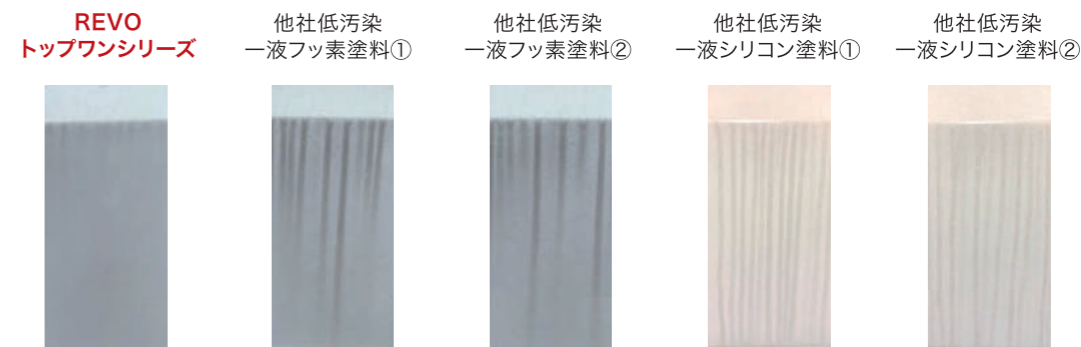


塗膜表面が強靭なため、砂埃が刺さりにくく、排気ガスなどが染み込みにくい。

汚染付着経過観察実験

~屋外ばく露雨筋試験6ヶ月後比較~

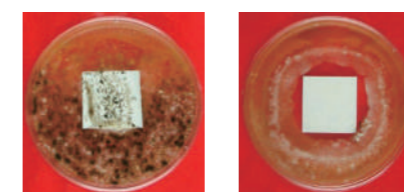
REVOトップワンシリーズと他社塗料を塗った板を屋外に設置し、経過観察を行いました。REVOトップワンシリーズは他社塗料と比較して美しさを維持しています。



カビ・藻の発生を抑え、建物の美観維持に貢献

「JIS Z 2911カビ抵抗性試験方法(社内試験規格)」及び「藻抵抗性試験(社内試験による)」に合格。カビ・藻の発生を抑え、美観の維持に貢献します。

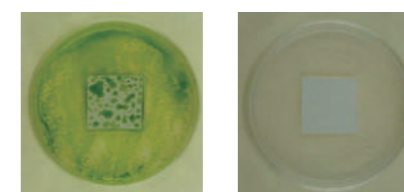
【カビ/培養4週間後の様子】



汎用塗料

REVOトップワンシリーズ

【藻/培養4週間後の様子】



汎用塗料

REVOトップワンシリーズ

REVOトップワンF

水性形二液サイディング用下塗材兼用特殊フッ素系上塗材



◆ 製品データ

荷 姿	15.15kg, 3.03kg
塗布量	0.25～0.35kg/m ²
希 釈	ローラーの場合:0～5%(清水) エアレスの場合:5～10%(清水) ※艶消の場合エアレス施工不可
艶	艶有・3分艶・艶消*
色	アステック標準色69色
可使時間	48時間以内(25℃)、24時間以内(35℃)

【対応素材】
窯業系サイディング・各種旧塗膜

【試験結果】

- JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
『容器の中での状態』『塗装作業性』『低温安定性』『乾燥時間』『塗膜の外観』『隠ぺい率』『耐水性』『耐アルカリ性』『耐洗浄性』 全て合格
- JIS A 6909 建築用仕上塗材 『可とう性』 合格
- 『防かび性』 合格 ※社内試験による(参考試験方法:JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法)
- 『防藻性』 合格 ※社内試験による

※艶消の場合、濃色では艶消剤の影響により、艶有塗料に比べて色味が白っぽく見える場合があります。
詳しくは調色可否表をご確認ください

◆ 窯業系サイディングの標準施工仕様

工 程	製品名	荷 姿	調合比	希 釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下地処理	・躯体のひび割れ、欠損等は補修を行ってください。 ・高圧水洗浄で、脆弱塗膜、表面のチョーキング、埃等を除去してください。 ・水分が十分に乾燥後、躯体が露出した箇所は、シーラー処理後、微弾性フィラー等で模様合わせを行ってください。									
上塗 (艶有・3分艶の場合)	REVOトップワンF A液	15kg	100	ローラーの場合: 0～5% エアレスの場合: 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	REVOトップワン B液	0.15kg	1							
上塗 (艶消の場合)	REVOトップワンF A液	15kg	100	0～5% (清水)	0.25～0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー
	REVOトップワン B液	0.15kg	1							

【下地調整】

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

【施工上の注意】

- ・フッ素塗膜、変性無機塗膜、光触媒塗膜へは塗装できません。
- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・アステックプラスSは添加できませんのでご注意ください。

- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行う場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- ・B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ・B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ・A液とB液を混合比率100:1の割合で電動攪拌機で十分に混合・攪拌(1分以上)してから使用してください。
- ・B液の混合割合が不適切であったり、混合が不十分ですと、付着性能が発揮できません。
- ・二液塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ・チョーキングが発生している場合(白亜化等級3～5等級)は施工不可となります。白亜化等級において2等級までを目安としてください。

REVOトップワンSi

水性形二液サイディング用下塗材兼用特殊シリコン系上塗材



◆ 製品データ

荷 姿	15.15kg, 3.03kg
塗布量	0.25～0.35kg/m ²
希 釈	ローラーの場合:0～5%(清水) エアレスの場合:5～10%(清水) ※艶消の場合エアレス施工不可
艶	艶有・3分艶・艶消*
色	アステック標準色69色
可使時間	48時間以内(25℃)、24時間以内(35℃)

【対応素材】
窯業系サイディング・各種旧塗膜

【試験結果】

- JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
『容器の中での状態』『塗装作業性』『低温安定性』『乾燥時間』『塗膜の外観』『隠ぺい率』『耐水性』『耐アルカリ性』『耐洗浄性』 全て合格
- JIS A 6909 建築用仕上塗材 『可とう性』 合格
- 『防かび性』 合格 ※社内試験による(参考試験方法:JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法)
- 『防藻性』 合格 ※社内試験による

※艶消の場合、濃色では艶消剤の影響により、艶有塗料に比べて色味が白っぽく見える場合があります。
詳しくは調色可否表をご確認ください

◆ 窯業系サイディングの標準施工仕様

工 程	製品名	荷 姿	調合比	希 釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下地処理	・躯体のひび割れ、欠損等は補修を行ってください。 ・高圧水洗浄で、脆弱塗膜、表面のチョーキング、埃等を除去してください。 ・水分が十分に乾燥後、躯体が露出した箇所は、シーラー処理後、微弾性フィラー等で模様合わせを行ってください。									
上塗 (艶有・3分艶の場合)	REVOトップワンSi A液	15kg	100	ローラーの場合: 0～5% エアレスの場合: 5～10% (清水)	0.25～0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー/ エアレス
	REVOトップワン B液	0.15kg	1							
上塗 (艶消の場合)	REVOトップワンSi A液	15kg	100	0～5% (清水)	0.25～0.35 kg/m ²	2	2時間以上	—	24時間以上	ローラー
	REVOトップワン B液	0.15kg	1							

【下地調整】

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

【施工上の注意】

- ・フッ素塗膜、変性無機塗膜、光触媒塗膜へは塗装できません。
- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・シーリング材目地に塗装した場合、動きに追従出来ずに塗膜がひび割れることがあります。
- ・アステックプラスSは添加できませんのでご注意ください。

- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行う場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- ・B液は危険物第四類第二石油類に該当しますので、保管・取扱いには十分に注意してください。
- ・B液は、開封後は変質しやすいため、冷暗所で密閉して保管し、2週間以内に使い切ってください。
- ・A液とB液を混合比率100:1の割合で電動攪拌機で十分に混合・攪拌(1分以上)してから使用してください。
- ・B液の混合割合が不適切であったり、混合が不十分ですと、付着性能が発揮できません。
- ・二液塗料ですので、混合・攪拌後は可使時間以内に使い切ってください。
- ・チョーキングが発生している場合(白亜化等級3～5等級)は施工不可となります。白亜化等級において2等級までを目安としてください。